

情報公開文書

研究課題名	Anti-neutrophil-cytoplasmic-antibody-associated-vasculitis (ANCA 関連血管炎) 患者における腎生検の有用性の検討
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関: 信州大学医学部附属病院)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>信州大学医学部附属病院 腎臓内科</u> 氏名 <u>原田 真</u> 当 院 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>小林 衛</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ~ 2022 年 12 月
研究の概要	(研究の意義・目的) ANCA 関連血管炎による腎障害が疑われる場合は、腎生検で確定診断及び病勢評価を行い適切な治療を行うこととされますが、腎生検は侵襲的な処置であり、高齢者に発症することが多い ANCA 関連血管炎では腎生検が困難なことがあります。今回 ANCA 関連血管炎による腎障害をきたし、腎生検を施行した患者さんと施行しなかった患者さんの腎予後と比較することで、ANCA 関連血管炎患者さんに腎生検を行うことの意義を検討します。 (研究の方法) ANCA 関連血管炎による腎障害をきたし、腎生検を施行した患者さんと施行しなかった患者さんの腎予後を統計学的に比較します。
試料・情報	(試料・情報の項目) 電子カルテ上の情報を使用 (年齢、性別、検査値、治療内容、合併症等)
研究対象者	2010 年 1 月~2017 年 12 月の間に長野赤十字病院に入院し ANCA 関連血管炎の治療を受けた 20 歳以上の患者さん ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>小林 衛</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439